The Specialist in Filtration
YAMASHIN

東証プライム市場

6240

個人投資家説明会

Fly to the next stage!

説明資料

ヤマシンフィルタ株式会社
2024年12月14日

2024 ©YAMASHIN-FILTER CORP. All rights reserved.

ヤマシンフィルタの強み

2024 ©YAMASHIN-FILTER CORP. All rights reserved.

建機用フィルタ事業にみるヤマシンフィルタの特徴

建設機械の稼働に不可欠なフィルタ、多様なラインナップを建機メーカーに提供

2024 ©YAMASHIN-FILTER CORP. All rights reserved.

建機用フィルタ事業にみるヤマシンフィルタの特徴

Tier1メーカーとして、建機業界や顧客ビジネスに対するナレッジ・1次情報を豊富に保有、それらをもとに製品開発・最適供給することで顧客価値を最大化、トップシェアを誇る

POINT.1

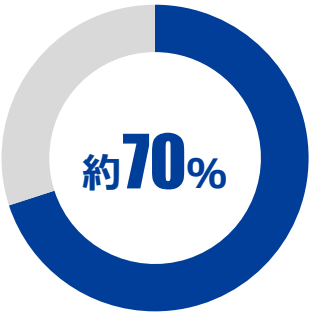
建設機械分野でフィルタ製品を供給する

Tier1メーカー

POINT.2

建設機械用油圧フィルタ

世界シェアNo.1



国内における主要建機向け油圧フィルタ売上シェア（2012年度）出典：矢野経済研究所

顧客（建機メーカー）

全部門型 顧客リレーション

全部門で業界・顧客の課題やニーズを把握することで、新たな顧客価値を最大化

The Specialist in Filtration YAMASHIN

顧客窓口

- 営業
- 研究開発
- 生産

顧客ニーズを満たす3つの強み

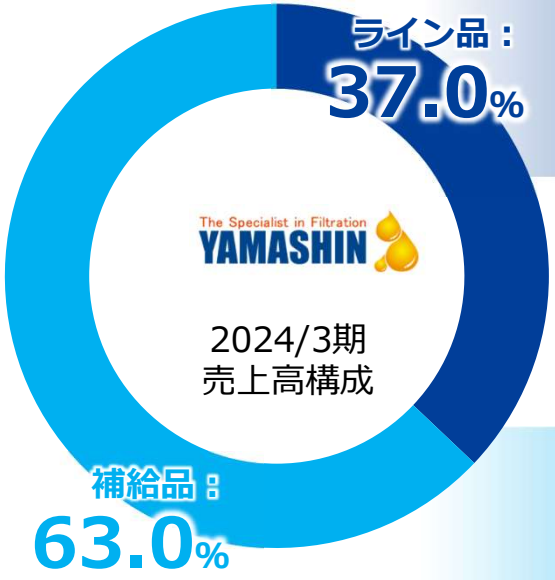
- 高度な提案力
- キーパーツを独自開発
- 優れたサプライチェーン

2024 ©YAMASHIN-FILTER CORP. All rights reserved.

POINT.3

安定した補給品市場

新車ライン品と交換用のアフターマーケット補給品を組み合わせることで、安定した収益構造を実現
加えて市場の情報やニーズを把握し、新たな開発につなげるサイクルを確立



サポート活動を
通じて得た情報や
ニーズを活かし
新たな
ライン品を開発

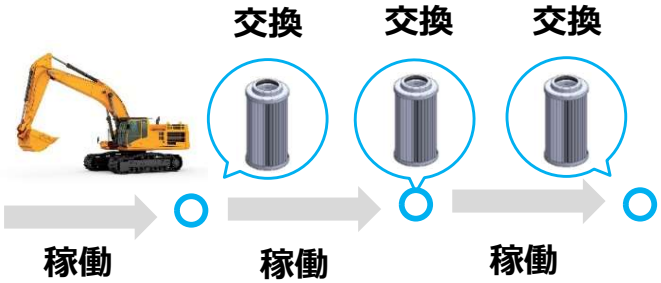
フィルタの
交換サイクルに
あわせ
補給品を提供

新車市場（ライン品）

市場の特徴

- 新規顧客の獲得が可能
- 新車生産台数と連動
- 景気変動に左右されやすい

アフターマーケット（補給品）



市場の特徴

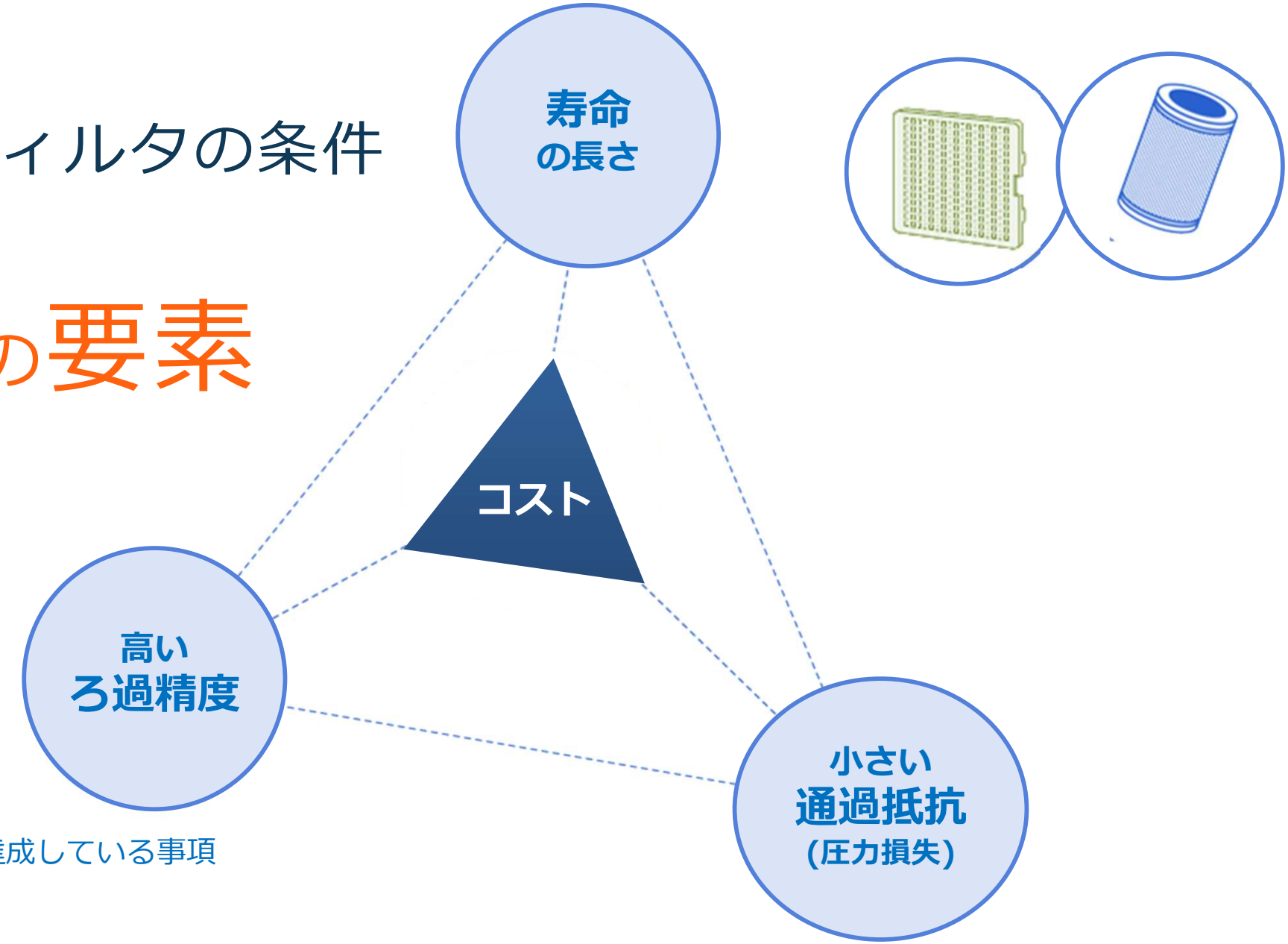
- 利益率が高い
- 安定的なストック市場
- 景気変動に左右されにくい

2024 ©YAMASHIN-FILTER CORP. All rights reserved.

優れたフィルタの条件

良いフィルタの条件である

3つの要素



○ すでに達成している事項

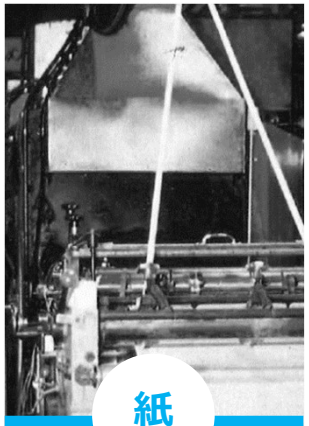
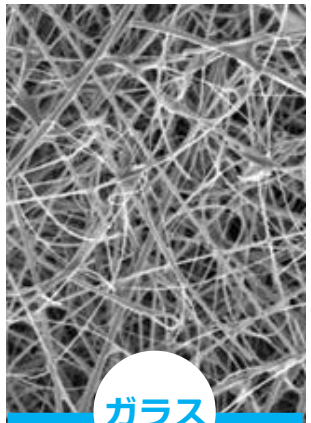
2024 ©YAMASHIN-FILTER CORP. All rights reserved.

POINT.4 自社でろ材開発と供給

これまでも当社は先んじて建機業界のデファクトを牽引してきた実績がある
ガラス繊維に置き換わる次世代のろ材として、ナノファイバーを競合他社に先んじて導入を進める

これまで

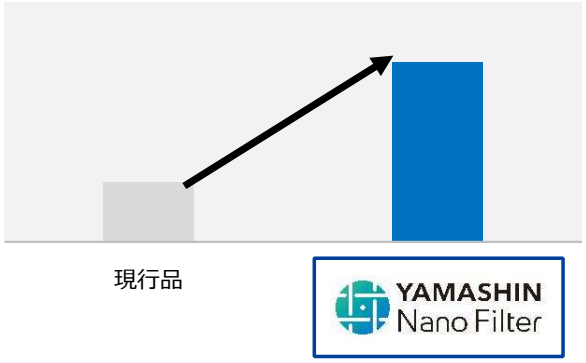
社会の要請に合わせてフィルタのろ材にこだわり、自社で独自の素材を開発し業界をリード

創業期	黎明期	発展期
		
布	紙	ガラス
帆布製品の縫製加工	フィルタメーカーとして自社でろ紙を開発	ガラス繊維を用い市場を席巻し高いシエアを獲得

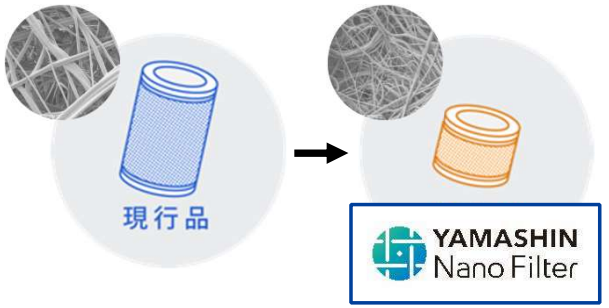
新製品

YAMASHIN Nano Filter ™から生成されるナノファイバ素材は、立体的な構造と加工の自由度の高さが特徴

素材性能を活かし現行品に比べ
約３倍のダスト捕獲量



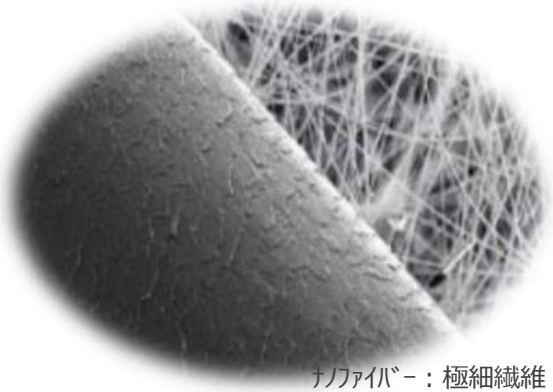
従来のガラス繊維の製品と比較して
約2倍の精度を実現



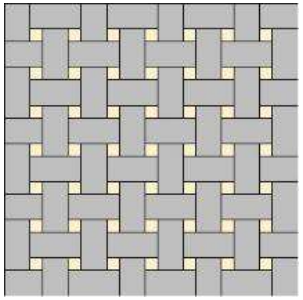
2024 ©YAMASHIN-FILTER CORP. All rights reserved.

建機用フィルタ事業にみるヤマシンフィルタの特徴

ナノファイバーとは？-Yamashin Nano Filter™



ﾅﾉﾌｧｲﾊﾞｰ：極細繊維　φ500nm
(髪の毛の約1/140)



マイクロファイバー

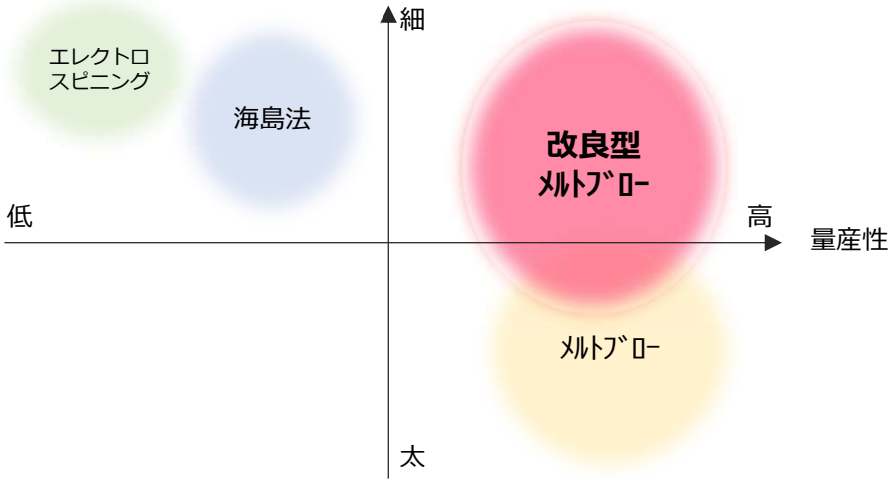
ナノファイバー

繊維径が細いと様々な効果が期待される

■YAMASHIN Nano Filterの技術

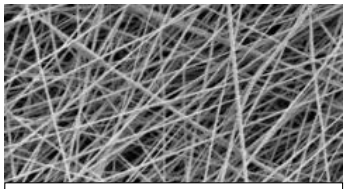
①コストパフォーマンスに優れたナノファイバー

「改良型メルトブロー法」という独自の生産方法で
圧倒的な量産性を実現繊維径

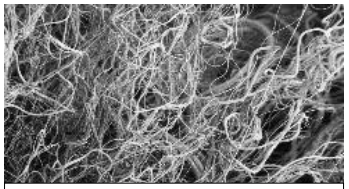


②当社独自技術によりシート化可能

繊維径分布と**特殊な形状**の融合により、
ファイバーを立体構造化し、嵩高さを作り出す



他社ナノファイバー



ヤマシンナノフィルタ

ナノレベルの繊維径で、
厚みのあるシート化は
ヤマシンフィルタ独自の技術。

2024 ©YAMASHIN-FILTER CORP. All rights reserved.

新たな価値創造の取り組み

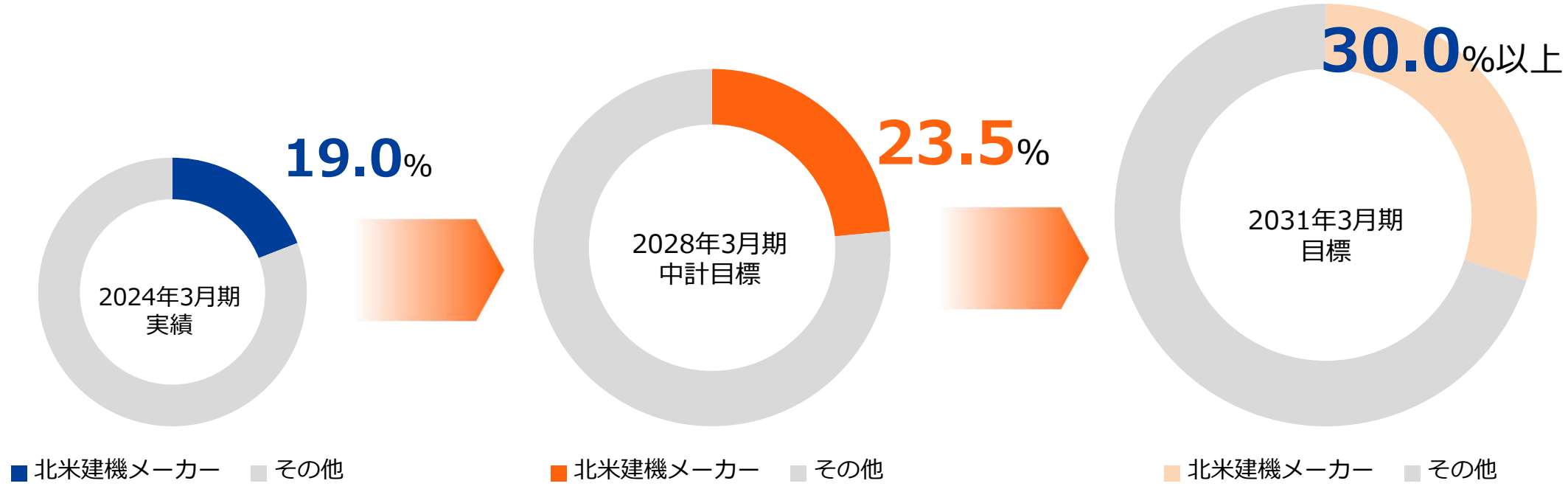
2024 ©YAMASHIN-FILTER CORP. All rights reserved.

建機事業－重点戦略①：多様なアプローチによるシェア拡大

北米建機メーカー向け売上高構成比は、大幅な拡大を見込む

実施施策	多様な顧客接点×技術シーズによる高付加価値製品の提案	→	新規製品の採用獲得

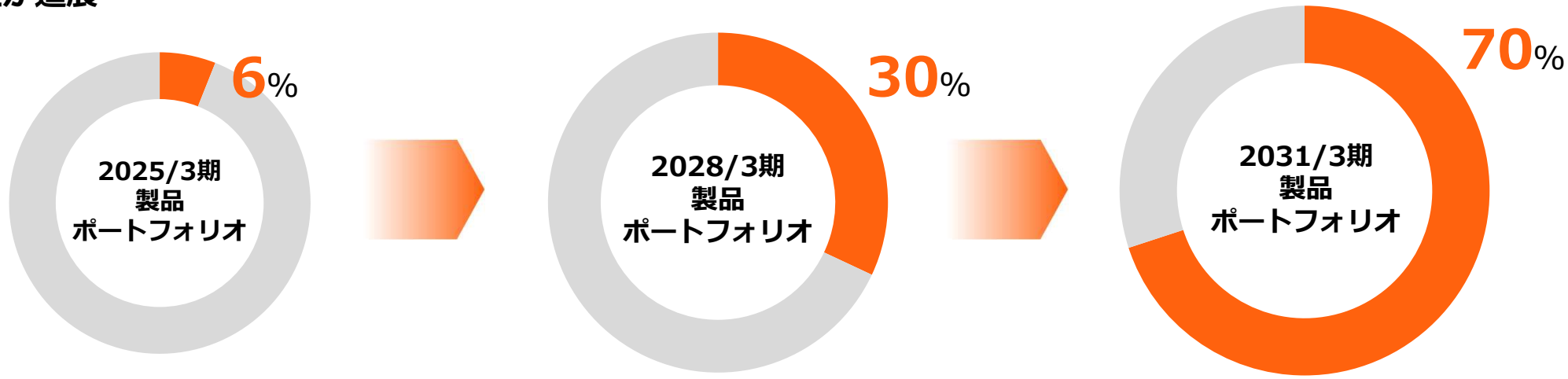
北米建機メーカー向け売上高構成比

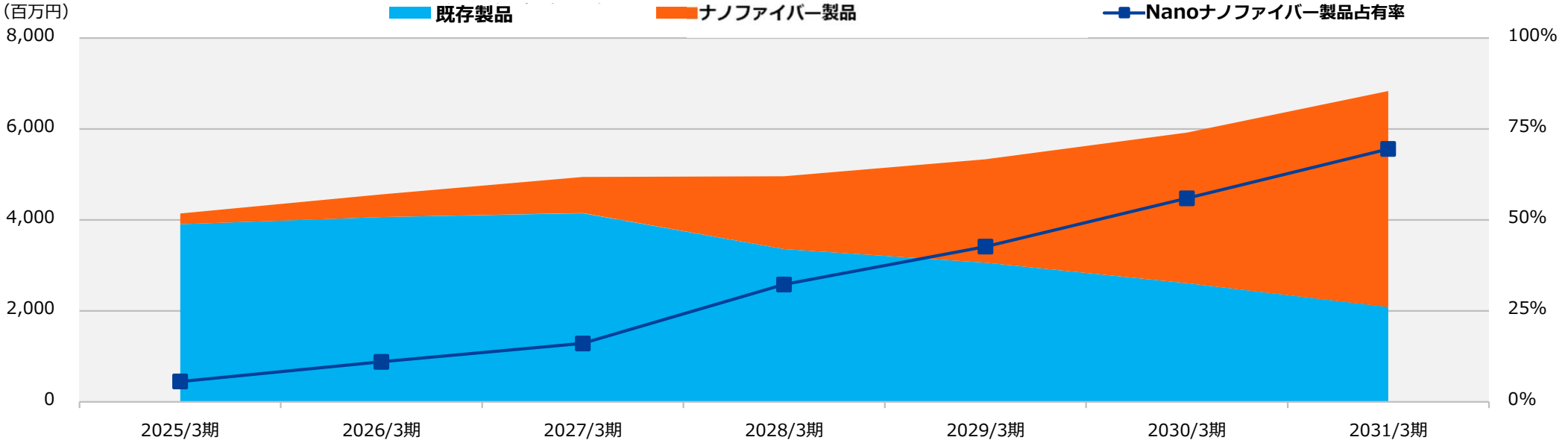


2024 ©YAMASHIN-FILTER CORP. All rights reserved.

建機事業－重点戦略②：ナノファイバー製品の拡大

既存製品からナノファイバー製品への置換えが進展、中計期間最終年度には約30%、2031/3期には70%まで置き換えが進展





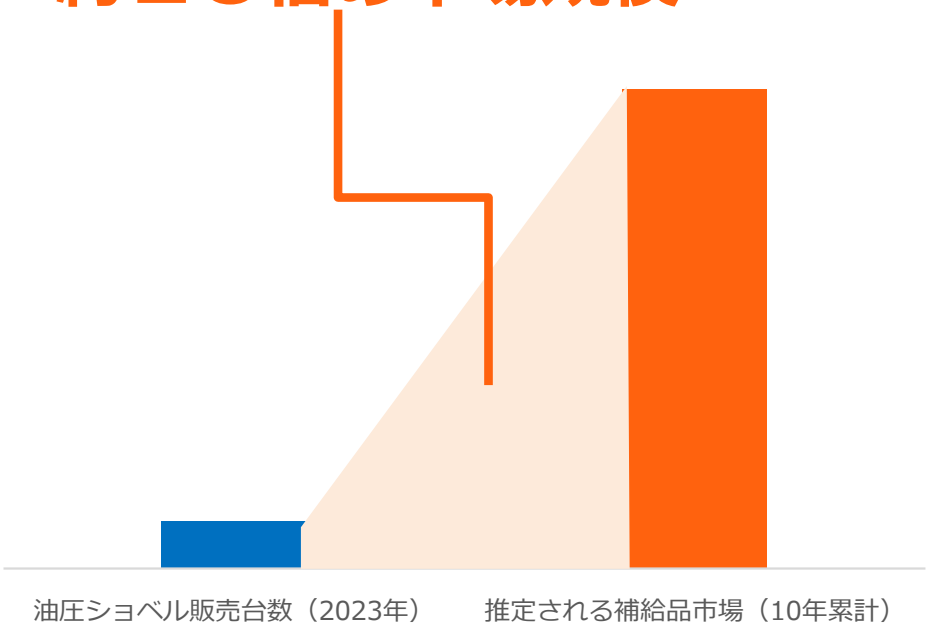
2024 ©YAMASHIN-FILTER CORP. All rights reserved.

建機事業－重点戦略③：アフターマーケット活動の進化

当社はまだ一部分しかリーチ出来ていないが、アフターマーケット市場には大きな開拓余地があり

市場データ
単年度、5年間販売台数

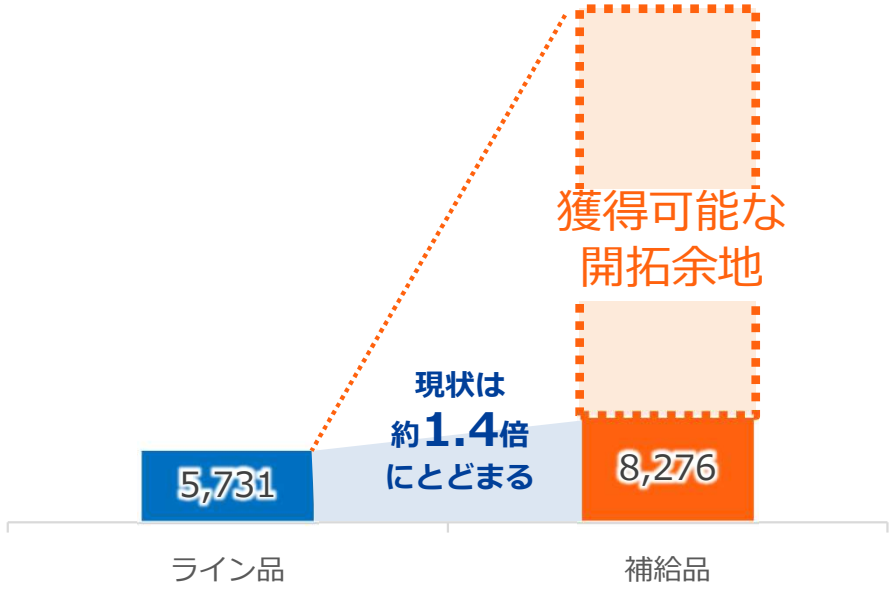
補給品はライン品の
約10倍の市場規模



≠

当社のライン品・補給品売上高
24/3期

当社の補給売上はラインの
約1.4倍程度



2024 ©YAMASHIN-FILTER CORP. All rights reserved.

エアフィルタ事業－重点戦略①：ろ材の拡販

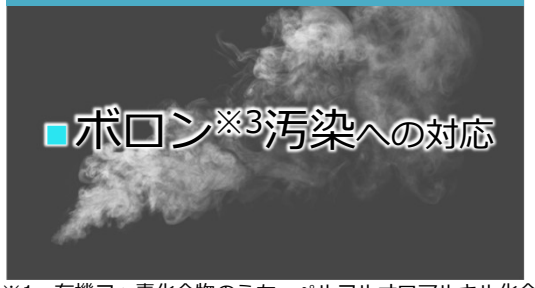
規制動向や環境ニーズの高い欧州をはじめとする海外市場では、機能性ろ材の需要は強い
地産地消が基本となるエアフィルタにおいて、スピード対応するためにろ材販売が最適と判断

フィルタ素材に求める機能性の高まり

環境規制のトレンド

- PFAS※1規制強化
- ZEB※2認証

半導体製造の技術トレンド



- ボロン※3汚染への対応

エアフィルタ市場

HVAC※4用フィルタ全世界
67.2億米ドル（2024年）
年平均成長率**6.9%** ※5

NanoWHELPシリーズのろ材販売

ガラス繊維ろ材にかわる不織布ろ材

製品用途	製品特徴
中高性能エアフィルタ用	省エネ性能 低CO2排出 **PFAS・PFOSフリー**※1

Nano Air（HEPA）シリーズのろ材販売

ガラス繊維ろ材にかわる不織布ろ材

製品用途	製品特徴
特に高い清浄度が求められる環境向け 製薬・半導体製造のクリーンルームなど	**PFAS・PFOSフリー**※1 **ボロンフリー**※3の 不織布型

※1　有機フッ素化合物のうち、ペルフルオロアルキル化合物及びポリフルオロアルキル化合物を総称して「PFAS」と呼び、代表例として、PFOS（ペルフルオロオクタンスルホン酸）がある。難分解性、高蓄積性、長距離移動性という性質がある
※2　Net Zero Energy Buildingの略称。建物で消費する年間の一次エネルギーの収支をゼロとすることを目指した建物
※3　ホウ素のこと。半導体特性に影響を与えてしまうため、半導体工場では避けられる。
※4　冷暖房等の空調システム。
※5　出典：Research and Markets

2024 ©YAMASHIN-FILTER CORP. All rights reserved.

エアフィルタ事業－重点戦略②：既存商流の強化

独自開発のナノファイバーろ材を用いたNanoWHELPのラインナップが存在
特徴であるロングライフ化と低い空気抵抗による省エネ・CO2低排出を活かす

集塵対象：ウイルス ／ 細菌 ／ 塵・ほこり

HEPA/ULPA　　粗塵

中・高性能

独自開発素材である
YAMASHIN Nano Filter ™
を起点に各製品群に展開

YAMASHIN Nano Filter™

Semi HEPA

Merv 16 (※3)

特徴

高い清浄度が求められる製品郡

市場：工作機械約1兆7千億円（※2）のうち、パーツ
施設（製品）：工作機械向け

HEPA

Merv 17 (※3)

特徴

特に高い清浄度が求められる

市場：約100億円（※1）
施設：製薬・半導体製造のクリーンルームなど
中計期間当社新製品

既存代理店向け主力製品

NanoWHELP 65

特徴

中高性能市場における当社のベース製品
市場：国内約80億円（※1）
施設：大規模施設向け
当社販売量：プレフィルタと並び主力

NanoWHELP 95・98・99

Merv 14-15 (※3)

特徴

中高性能市場に新たな価値を提供する、高清浄度向けの製品群

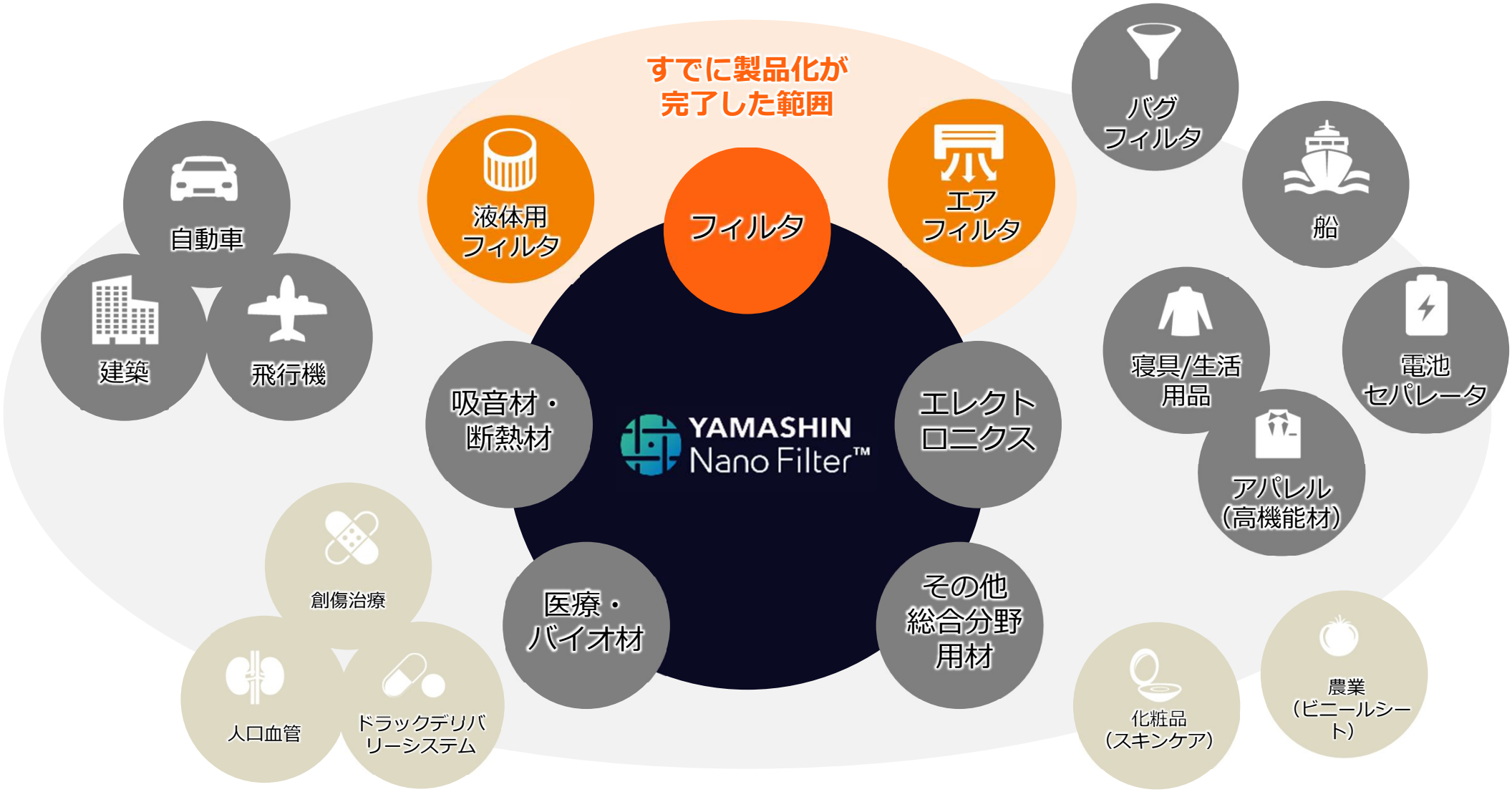
市場：中性能国内約80億円（※1）のうち高効率品は一部
施設：データセンター・病院・公的施設・塩害対策が求められる施設など

※1　富士経済「高機能分離膜／フィルター関連技術・市場の全貌と将来予測2022」参照
※2　日経COMPAS参照
※3　米国のエアフィルタの規格（ASHRAE52.2)で、数字が大きいほど粒子の捕集率が高い

2024 ©YAMASHIN-FILTER CORP. All rights reserved.

新たな領域への展開： YAMASHIN Nano Filter ™の可能性

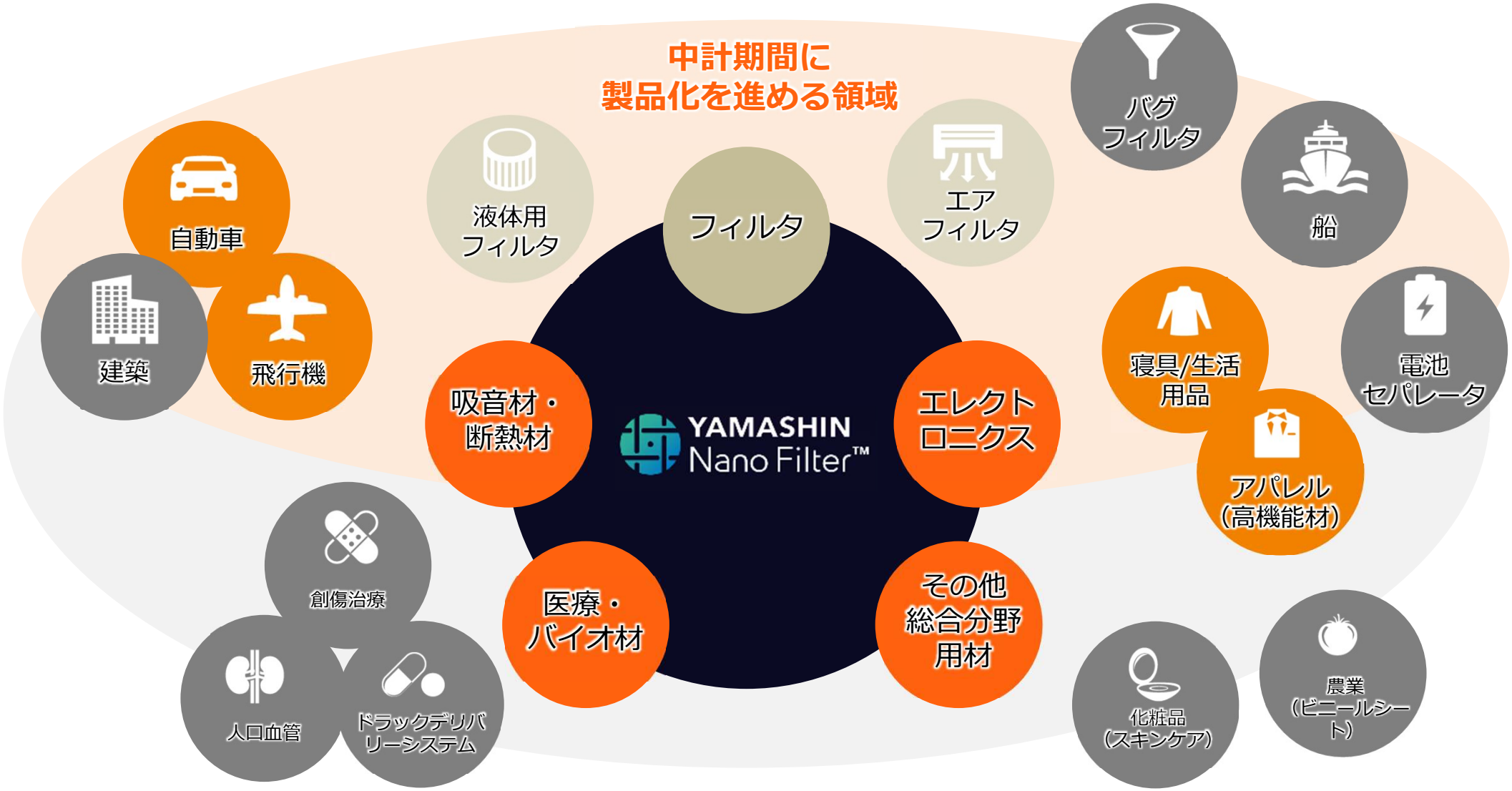
YAMASHIN Nano Filter ™は素材として様々な可能性をもっており、
開発以来フィルタ領域におけるろ材としてはすでに新製品開発に成功し実用化



2024 ©YAMASHIN-FILTER CORP. All rights reserved.

新たな領域への展開： 中計期間における開発想定範囲

すでに製品化しているフィルタ領域に加えて「断熱・吸音」「エレクトロニクス」分野を軸に
自動車・飛行機、アパレル分野への進出を目指す研究開発を進める



2024 ©YAMASHIN-FILTER CORP. All rights reserved.

新たな領域への展開：耐熱テーマ

YAMASHIN　Nano Filter ™の特性に加えて＋アルファの機能を組み合わせた新素材を開発ターゲットとする

既存特性に付加する機能

既存特性		付加する価値
YAMASHIN Nano Filter™ 高空隙性 軽量性 透湿性	＋	耐熱 吸湿発熱 超軽量

想定される市場規模※

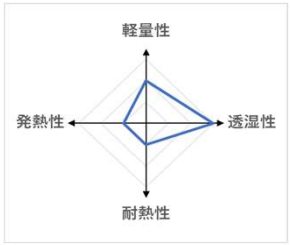
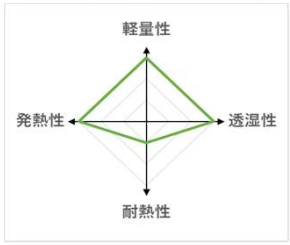
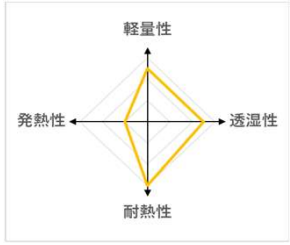
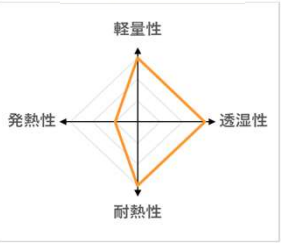
全世界・断熱材市場

10兆円
2023年

→

14.6兆円
2028年

※出典：Markets and Markets

	開発STEP1		開発STEP2	
ターゲット となる製品・市場				
求められる 機能				
カギとなる要素	コスト低減	吸湿発熱・超軽量	高耐熱性能	高耐熱性能

2024 ©YAMASHIN-FILTER CORP. All rights reserved.

新たな領域への展開：導電テーマ

YAMASHIN　Nano Filter ™の特性に加えて＋アルファの機能を組み合わせた新素材を開発ターゲットとする

既存特性に付加する機能

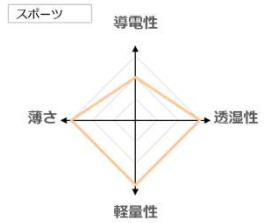
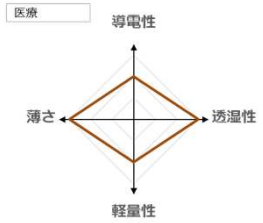
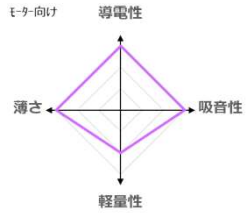
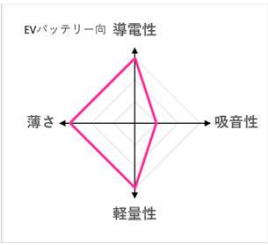
既存特性		付加する価値
YAMASHIN Nano Filter™ 高空隙特性 軽量性 透湿性（通気性）	＋	導電性

想定される市場規模※

全世界・スマートテキスタイル

0.88兆円 2024年 → 2.4兆円 2028年

※出典：Markets and Markets

	開発STEP1		開発STEP2	
ターゲットとなる製品・市場				
求められる機能				
カギとなる要素	センサー感度 （繊維の細さ）	センサー感度 （導電性・繊維の細さ）	高い導電性と吸音性	高い導電性

2024 ©YAMASHIN-FILTER CORP. All rights reserved.

新中期経営計画定量目標

2024 ©YAMASHIN-FILTER CORP. All rights reserved.

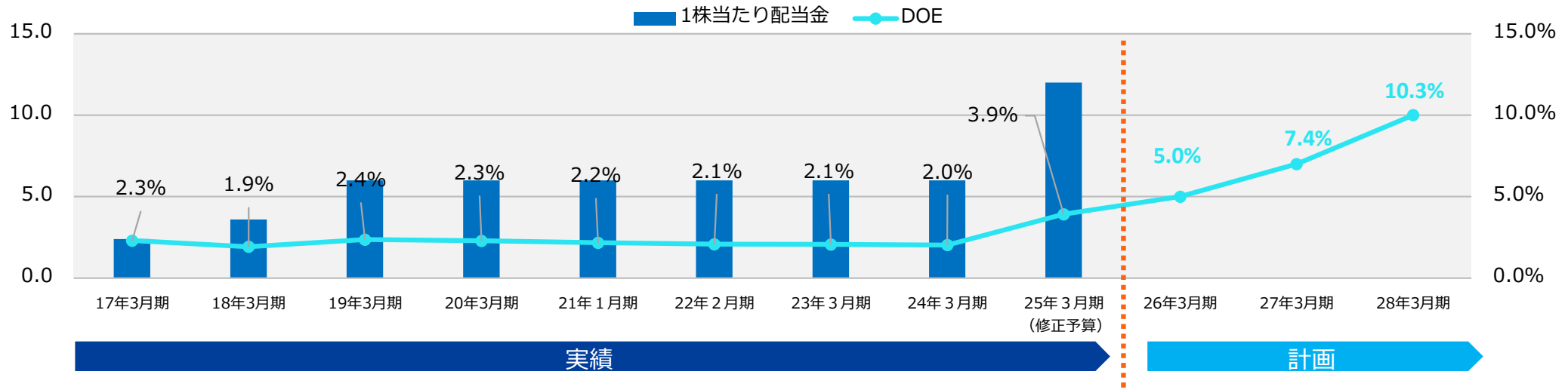
株主還元

資本政策を抜本的に見直し高い株主還元を目指す
配当方針として2028年3月期DOE10%

※成長投資の必要性を踏まえ実施

（百万円）	24年3月期 実績	25年3月期 修正予算	26年3月期 計画	27年3月期 計画	28年3月期 計画
1株当たり配当金	6円	12円	–	–	–
DOE（%）	2.0	3.9	5.0	7.4	10.3
配当性向（%）	54.5	57.2	58.1	72.2	82.9
総還元性向（%）	121.0	61.2	113.5	119.3	122.0

1株当たり配当金推移



2024 ©YAMASHIN-FILTER CORP. All rights reserved.

新中期経営計画の定量目標（連結）

2025年3月期までに収益改善、経営基盤の強化を完了、
2028年3月期にはMAVY's 2%以上、時価総額1千億円を目指す

（百万円）	24年3月期 実績	25年3月期 修正予算	26年3月期 計画	27年3月期 計画	28年3月期 計画
売上高	18,024	19,300	20,420	22,030	**23,790**
営業利益	1,411	2,220	2,720	3,220	**3,875**
営業利益率（%）	7.8	11.5	13.3	14.6	**16.3**
MAVY's（%）	**△2.6**	**△1.4**	**0.2**	**1.3**	**2.9**
ROIC（%）	4.9	6.7	8.1	8.9	**10.2**
WACC（%）	7.5	8.1	7.9	7.6	**7.3**
EPS（円）	11	21.0	27.5	33.2	**41.0**

2024 ©YAMASHIN-FILTER CORP. All rights reserved.

新中期経営計画の定量目標（セグメント別）

建機用フィルタビジネスの収益性は大幅に改善、エアフィルタ事業のROIC改善が取り組むべき課題

建機用フィルタ事業

（百万円）	24年３月期 実績	25年3月期 修正予算	26年3月期 計画	27年3月期 計画	28年3月期 計画
売上高	15,382	16,500	17,520	19,030	**20,690**
営業利益	1,320	2,100	2,600	3,070	**3,710**
営業利益率（%）	8.6	12.7	14.8	16.1	**17.9**
ROE（%）	3.9	8.1	9.8	11.7	**14.4**
MAVY's（%）	**△1.7**	**0.2**	**1.5**	**2.6**	**4.3**
ROIC（%）	5.8	8.3	9.4	10.2	**11.6**
WACC（%）	7.5	8.1	7.9	7.6	**7.3**

エアフィルタ事業

（百万円）	24年３月期 実績	25年3月期 修正予算	26年3月期 計画	27年3月期 計画	28年3月期 計画
売上高	2,642	2,800	2,900	3,000	**3,100**
営業利益	91	120	120	150	**165**
営業利益率（%）	3.5	4.3	4.1	5.0	**5.3**
ROE（%）	2.4	0.3	2.3	2.8	**3.0**
MAVY's（%）	**△6.0**	**△7.8**	**△5.8**	**△5.1**	**△4.6**
ROIC（%）	1.5	0.4	2.1	2.5	**2.7**
WACC（%）	7.5	8.1	7.9	7.6	**7.3**

2024 ©YAMASHIN-FILTER CORP. All rights reserved.

非財務情報 KPI

非財務KPIを設定することで、サステナビリティの取り組みをさらに促進させ、開示文書やCDPを通じたサステナビリティ情報の透明性を向上

2023/3期 実績

ESG投資指数

- FTSE スコア1.5
- CDP気候変動 スコアD

2024/3期 実績

ESG投資指数

- FTSEスコア2.7

FTSE Blossom Japan Sector Relative Index初組み入れ

- CDP気候変動スコアB

2028/3期 目標

ESG投資指数

- FTSEスコア4.0以上
- CDP気候変動 スコアA取得

目標達成に向けた取り組み

1. 各種方針の策定
2. CO_2削減活動推進
3. 高付加価値製品（ロングライフ、小型化製品等）の拡販

CDPへの取り組み強化や、**ESGデータ**（サステナビリティレポートなど ）の開示情報の拡充

2024 ©YAMASHIN-FILTER CORP. All rights reserved.

The Specialist in Filtration
YAMASHIN

この資料に記載されている業績の見通し等将来に関する情報は、現在入手可能な情報に基づいて作成しております
実際の業績は市場動向や業績情勢等の様々な要因等によって異なる可能性があります

この資料に関するお問い合わせは ヤマシンフィルタ株式会社 広報・IR担当まで

TEL 045-680-1680 E-mail ir@yamashin-filter.co.jp